

索引(著者編者別)

【あ】

- 青山圭秀『アガステアの葉』三五館 1994年 238
 青山圭秀『理性のゆらぎ』三五館 1993年 238
 秋月達郎『海の翼 エルトゥールル号の奇蹟』P H P 文芸文庫 2014年 134
 朝日新聞社『'64東京オリンピック』朝日新聞社 1964年 123
 芦田宏直『努力する人間になってはいけない』ロゼッタストーン 2013年 127
 嵐山光三郎『漂流怪人・きだみのる』小学館 2016年 230
 安藤礼治／若松英輔編『井筒俊彦』河出書房新社 2014年 171

【い】

- 飯山陽『イスラム教の論理』新潮新書 2018年 242
 イアン・ステイーヴンソン『前世を記憶する子どもたち』日本教文社 1990年 245
 石井研堂編『異国漂流奇譚集』新人物往来社 1971年 15, 18
 石井研堂編校訂『漂流奇談全集』博文館 1908年 14
 石光真清『石光真清の手記』中央公論社 1988年 49
 石光真清『曠野の花』中公文庫 1978年 50
 石光真清『城下の人』中公文庫 1978年 50
 石光真清『誰のために』中公文庫 1979年 50
 石光真清『望郷の歌』中公文庫 1979年 50
 一ノ宮美成＋グループ・K21『黒い都知事石原慎太郎』宝島社 2011年 237
 五木寛之『生かされる命をみつめて』東京書籍 2011年 179
 五木寛之『風の王国』新潮社 1985年 132
 井筒俊彦『イスラーム哲学の原像』岩波新書 1980年 171
 井筒俊彦『イスラーム文化』岩波文庫 1991年 84, 170
 井筒豊子『井筒俊彦の学問遍路―同行二人半』慶應義塾大学出版会 2017年 249
 伊東俊太郎『十二世紀ルネサンス』講談社学術文庫 2006年 188
 井上靖『井上靖全詩集』新潮文庫 1983年 76
 岩田博『ひとり出版社「岩田書院」の舞台裏2003～2008』岩田書院 2008年 209

【う】

- 上田紀行『がんばれ仏教!』日本放送協会 2004年 41
 上田紀行『スリランカの悪魔祓い』徳間書店 1990年 61
 宇高雄志『神戸モスク 建築と街と人』東方出版 2018年 240
 宇高雄志『南方特別留学生ラザクの「戦後」』南船北馬舎 2012年 108, 220
 内田樹／中田考『一神教と国家』集英社新書 2014年 135, 144

- 内田樹／成瀬雅春『身体で考える。』マキノ出版 2011年 95
- 内田樹『村上春樹にご用心』アルテスパブリッシング 2007年 56
- 梅棹忠夫『文明の生態史観』中公文庫 1974年 175
- 【え】
- エズラ・F・ヴォーゲル『ジャパン・アズ・ナンバーワン』T B S ブリタニカ 1979年 64
- 【お】
- 大川周明『回教概論』ちくま学芸文庫 2008年 83
- 大櫛克之『三国志』素人社 1990年 240
- 大櫛克之『執念 東周列国志』南船北馬舎 2007年 240
- 大阪府立情報センター編『「ブガジャ」の時代』ブレーンセンター 2008年 66
- 大阪文学協会理事会編『いま、文学の森へ』葦書房 2004年 226
- 大野晋／金関恕編『考古学・人類学・言語学との対話』岩波書店 2006年 45
- 大野晋『弥生文明と南インド』岩波書店 2004年 45
- 岡茂雄『本屋風情』中公文庫 1983年 184
- 岡村隆『泥河の果てまで』講談社 1988年 33
- 沖浦和光『幻の漂泊民・サンカ』文春文庫 2004年 133
- 【か】
- 開高健『ずばり東京』文春文庫 1982年 124
- 加地伸行『漢文法基礎』講談社学術文庫 2010年 91
- 加地伸行『沈黙の宗教—儒教』ちくまライブラリー 1994年 92, 216
- 梶山季之『性欲のある風景』河出文庫 1985年 27
- 『梶山季之の世界〈追悼特集号〉』別冊新評 新評社 1975年 28
- 梶山季之『李朝残影』講談社文庫 1978年 27
- 梶山季之『李朝残影 梶山季之朝鮮小説集』インパクト出版会 2002年 27
- 片岡義男『短編を七つ、書いた順』幻戯書房 2014年 3
- 片倉もところ『アラビア・ノート』NHKブックス 1979年 114
- 片倉もところ『イスラームの日常世界』岩波新書 1991年 73, 122
- 片倉もところ『砂漠へ、のびやかに』筑摩書房 1987年 173
- 片倉もところ『旅だちの記』中央公論新社 2013年 222
- 桂川潤『本は物である』新曜社 2010年 89
- 門田修『海のラクダ』中公文庫 1998年 181
- ガナナート・オベーサーカラ『メドゥーサの髪』渋谷利雄訳 言叢社 1988年 227
- 柄谷行人『遊動論 柳田国男と山人』文春新書 2014年 129, 132
- 【き】
- 紀田順一郎『蔵書一代』松籟社 2017年 241
- きだみのる『気違い部落周遊紀行』富山房百科文庫 1981年 230
- 木下孝司『マラウイ記』南船北馬舎 2009年 222
- 金元祚『凍土の共和国』亜紀書房 1984年 24
- 木村剛久『蟠桃の夢』トランスビュー 2013年 115

【く】

- 工藤美代子『もしもノンフィクション作家がお化けに会ったら』メディアファクトリー 2011年 94
 倉沢愛子『女が学者になるとき』草思社 1998年 108
 倉沢愛子『南方特別留學生が見た戦時下の日本人』草思社 1997年 108
 黒田美代子『商人たちの共和国』藤原書店 1995年 163

【け】

- 玄田有史『働く過剰』N T T出版 2005年 36

【こ】

- 神戸新聞社『神戸新聞の100日』プレジデント社 1995年 54
 小島毅『父が子に語る近現代史』トランスビュー 2009年 96
 小西甚一『古文の読解』筑摩書房 2010年 91
 狐野利久『比較文化入門』北星堂書店 1995年 179
 小林弦彦『旧暦はくらしの羅針盤』生活人新書 2002年 47, 48
 小室直樹『危機の構造』ダイヤモンド社 1976年 87
 小室直樹『ソビエト帝国の崩壊』光文社 1980年 85, 214
 小室直樹『信長 近代日本の曙と資本主義の精神』ビジネス社 2010年 86
 小山聡子『浄土真宗とは何か 親鸞の教えとその系譜』中公新書 2017年 178

【さ】

- 斎藤兆史『英語達人列伝』中公新書 2000年 213
 櫻井秀子『イスラーム金融 贈与と交換、その共存のシステムを解く』新評論 2008年 145
 さくらももこ『さるのこしかけ』集英社 1992年 217
 佐々木良昭『日本人が知らなかった中東の謎』海竜社 2014年 247
 佐藤正午『月の満ち欠け』岩波書店 2017年 239, 245
 佐藤哲朗『大アジア思想活劇 仏教が結んだもうひとつの近代史』オンブックス 2006年 40
 沢木耕太郎『あなたがいる場所』新潮社 2011年 94
 沢木耕太郎『危機の宰相』文春文庫 2008年 99

【し】

- ジェローム・D・サリンジャー『キャッチャー・イン・ザ・ライ』白水社 2003年 56
 塩田光喜『石斧と十字架』彩流社 2006年 43
 塩野七生『ローマから日本が見える』集英社文庫 2008年 64
 塩野七生『ローマ亡き後の地中海世界Ⅰ』新潮文庫 2014年 193
 重信メイ『「アラブの春」の正体』角川書店 2012年 163, 200
 重松清『赤ヘル1975』講談社 2013年 235
 司馬遼太郎『街道をゆく(36) 本所深川散歩・神田界限』朝日文庫 1995年 186
 司馬遼太郎『菜の花の沖』文藝春秋 1982年 17
 司馬遼太郎『南蛮のみちⅡ』朝日新聞社 1984年 17
 司馬遼太郎『二十世紀末の闇と光』中公文庫 2004年 246
 島田彰夫『食とからだのエコロジー』農山漁村文化協会 1994年 58
 島田彰夫『食と健康を地理から見ると』農山漁村文化協会 1988年 58

- 島田彰夫『動物としてのヒトを見つめる』農山漁村文化協会 1991年 58
- 島田裕巳『戒名は、自分で決める』幻冬舎新書 2010年 214
- 清水克行『喧嘩両成敗の誕生』講談社 2006年 157
- 清水紘子『来て見てシリア』凱風社 1998年 163
- 下村治『日本は悪くない』文春文庫 2009年 98
- ジャネット・ウォラック『砂漠の女王 イラク建国の母ガートルート・ベルの生涯』内田優香訳
ソニー・マガジズ 2006年 237
- 城島充『拳の漂流』講談社 2003年 76
- 城島充『にいちゃんのランドセル』講談社 2009年 76
- 城島充『ピンポンさん』講談社 2007年 76
- 庄野護『スリランカ学の冒険』南船北馬舎 初版1996年 新版2013年 32, 223, 227
- 白川静『孔子伝』中公文庫 1991年 79
- 白川静『字通』平凡社 1996年 78
- 【す】
- 杉本良男『スリランカで運命論者になる』臨川書店 2016年 232
- スタンリー・レーン・プール『バルバリア海賊盛衰記』前嶋信次訳 リプロポート 1981年 192
- 【せ】
- 関川夏央『海峡を越えたホームラン』双葉社 1984年 25
- 関川夏央『「世界」とはいやなものである』日本放送出版協会 2003年 24
- 関川夏央『ソウルの練習問題』情報センター出版局 1984年 24
- 関川夏央『東京からきたナグネ』筑摩書房 1987年 25
- 【た】
- 大工原彌太郎『明るいチベット医学』情報センター出版局 1988年 51
- 高田瑞穂『新釈現代文』筑摩書房 2009年 91
- 『高田屋嘉兵衛遭厄自記』高田屋嘉兵衛翁顕彰会 2003年 239
- 高野秀行『イスラム飲酒紀行』扶桑社 2011年 140
- 高野秀行／清水克行『世界の辺境とハードボイルド室町時代』集英社 2015年 156
- 高野秀行『謎の独立国家ソマリランド』本の雑誌社 2013年 141, 157
- 高橋康昌『南洋の喫茶店―オセアニア現代史』筑摩書房 1986年 20
- 田中四郎『エジプトないしょばなし』文藝春秋新社 1962年 168
- 田中四郎『エジプトは誘惑する』文藝春秋 1996年 168
- 田中四郎『実用アラビア語会話』大学書林 1963年 168
- 田中四郎『やわらかなアラブ学』新潮選書 1992年 167, 234
- 田中四郎『駱駝のちどりあし』新潮社 1994年 168
- 種谷俊一『国権と良心』新教出版社 1975年 225
- 種谷俊一『救い主イエスの顔した神さま』南船北馬舎 2015年 224
- タミム・アンサーリー『イスラームから見た「世界史」』小沢千重子訳 紀伊國屋書店 2011年 175
- 【つ】
- 常岡浩介『イスラム国とは何か』旬報社 2015年 149

- 常見藤代『女ノマド、一人砂漠に生きる』集英社新書 2012年 113
- 坪内祐三『まぼろしの大阪』ぴあ 2004年 227
- 鶴見良行『歩きながら考える』太田出版 2005年 34
- 【な】
- 内藤虎次郎(湖南)『日本文化史研究』弘文堂書房 1924年 158
- 中島岳志『中村屋のボース インド独立運動と近代日本のアジア主義』白水社 2005年 38
- 中島岳志『ヒンドゥー・ナショナリズム』中公新書 2002年 39
- 長島信弘『死と病いの民族誌』岩波書店 1987年 42
- 中島らも『ガダラの豚』実業之日本社 1993年 42
- 中島らも／小堀純『せんべろ探偵が行く』集英社文庫 2011年 217
- 中田考『イスラーム 生と死と聖戦』集英社新書 2015年 149
- 中村小夜『昼も夜も彷徨えーマイモニデス物語』中公文庫 2018年 204
- 中村のん『社長、その服装では説得力ゼロです』新潮新書 2009年 72
- 南船北馬舎編『アジアから来る花嫁たち』南船北馬舎 1988年 231
- 【に】
- 日本経済新聞社『中洋の商人たち』日本経済新聞社 1982年 176
- 【は】
- バオ・ニン『戦争の悲しみ』井川一久訳 めるくまー 1997年 29
- バオ・ニン『愛は戦いの彼方へ』大川均訳 遊タイム出版 1997年 30
- 橋爪大三郎編著『小室直樹の世界』ミネルヴァ書房 2013年 248
- 長谷川權『子規の宇宙』角川選書 2010年 229
- 林佳世子『オスマン帝国500年の平和』講談社 2008年 154
- 馬場章夫『地球道中膝栗毛 バンちゃんの旅のおもしろ珍類学』南船北馬舎 1991年 118
- 【ひ】
- 日高由仁『新村スケッチブック』新宿書房 1989年 25
- 百田尚樹『海賊とよばれた男』講談社 2012年 221
- 平田篤胤『仙境異聞・勝五郎再生記聞』岩波文庫 2000年 244
- 【ふ】
- 福岡伸一『生物と無生物のあいだ』講談社現代新書 2007年 68
- 福岡伸一『動的平衡』木楽舎 2009年 68
- 福岡伸一『動的平衡2』木楽舎 2011年 102
- 福田アジオ『現代日本の民俗学 ポスト柳田の五〇年』吉川弘文堂 2013年 129
- 布施英利『構図がわかれば絵画がわかる』光文社新書 2012年 110
- 【へ】
- 平凡社編『白川静読本』平凡社 2010年 78
- 【ほ】
- 堀江敏樹『紅茶の本』南船北馬舎 1989年初版 1992年増補改訂版 2006年決定版 221
- 堀江敏樹『ティーブリーズ』南船北馬舎 2012年 221
- 本多勝一『アラビア遊牧民』朝日新聞社 1967年 183

【ま】

- マーヴィン・ハリス『食と文化の謎』板橋作美訳 岩波書店 1988年 119
『マージナル Vol.1』現代書館 1988年 132
マーティン・ウィクラマシンハ『蓮の道』野口忠司訳 南船北馬舎 2002年 233
牧野信也『アラブの思考様式』講談社学術文庫 1979年 173, 235
孫崎享『戦後史の正体』創元社 2012年 199, 218, 219
松岡昭宏『森の宮群落』本の研究会 2003年 226
松尾匡『新しい左翼入門』講談社現代新書 2012年 105, 162
松尾匡『この経済政策が民主主義を救う』大月書店 2016年 228
松尾匡『自由のジレンマを解く』PHP新書 2016年 160
松尾匡『商人道ノス・メ』藤原書店 2009年 70, 162
松尾匡『「はだかの王様」の経済学』東洋経済新報社 2008年 162
松尾匡『不況は人災です!』筑摩書房 2010年 80, 161, 162
松尾匡／ブレディみかこ／北田暁大『そろそろ左派は(経済)を語ろう』亜紀書房 2018年 244
マックス・ヴェーバー『職業としての政治』脇圭平訳 岩波文庫 1980年 142, 233
松田素二『都市を飼ひ慣らす アフリカの都市人類学』河出書房新社 1996年 34
松本修『全国アホバカ分布考』太田出版 1993年 221
松本健一『大川周明』岩波現代文庫 2004年 84
松山洋平『イスラーム思想を読みとく』ちくま新書 2017年 195

【み】

- 三木成夫『海・呼吸・古代形象』うぶすな書院 1992年 111
三角寛『三角寛サンカ選集』全15巻 現代書館 2000年 132
宮本輝『愉楽の園』文藝春秋 1989年 33

【む】

- 村上篤直『評伝小室直樹』ミネルヴァ書房 2018年 248

【も】

- 藻谷浩介『デフレの正体』角川書店 2010年 200, 243
森本哲郎／片倉もとこ／NHK取材班
『NHK海のシルクロード第2巻』日本放送出版協会 1988年 183
師岡カリマ・エルサムニー『イスラームから考える』白水社 2008年 121, 195

【や】

- 八切止夫『せぶり物語』日本シエル出版 1985年 133
柳田國男『新編柳田國男集』筑摩書房 1978年 131
山内昌之『民族と国家』岩波新書 1993年 153
山崎貞『新々英文解釈研究』研究社 2008年 91
山田吉彦『モロッコ』岩波新書 1951年 230

【よ】

- 吉野源三郎『君たちはどう生きるか』岩波文庫 1982年 243, 244
吉村昭『漂流』新潮文庫 1980年 14

索引

- 頼藤和寛『人みな骨になるならば』時事通信社 2000年 23
頼藤和寛『わたし、ガンです ある精神科医の耐病記』文春新書 2001年 22
- 【わ】**
- 若杉文吉『星状神経節ブロック療法』マキノ出版 1997年 211
和田英『富岡日記』ちくま文庫 2014年 138
渡邊博史『ミステリで知る世界120ヵ国』早川書房 1993年 32
和田竜『村上海賊の娘』新潮社 2013年 191
和辻哲郎『風土』岩波書店 1935年 183